

ディスクエラーのトラブルシューティング

内容

[ディスクエラー](#)

[ICSeverity](#)

[影響](#)

[説明](#)

[Syslogメッセージ](#)

[メッセージサンプル](#)

[製品ファミリ](#)

[正規表現](#)

[推奨事項](#)

[コマンド](#)

ディスクエラー

ICSeverity

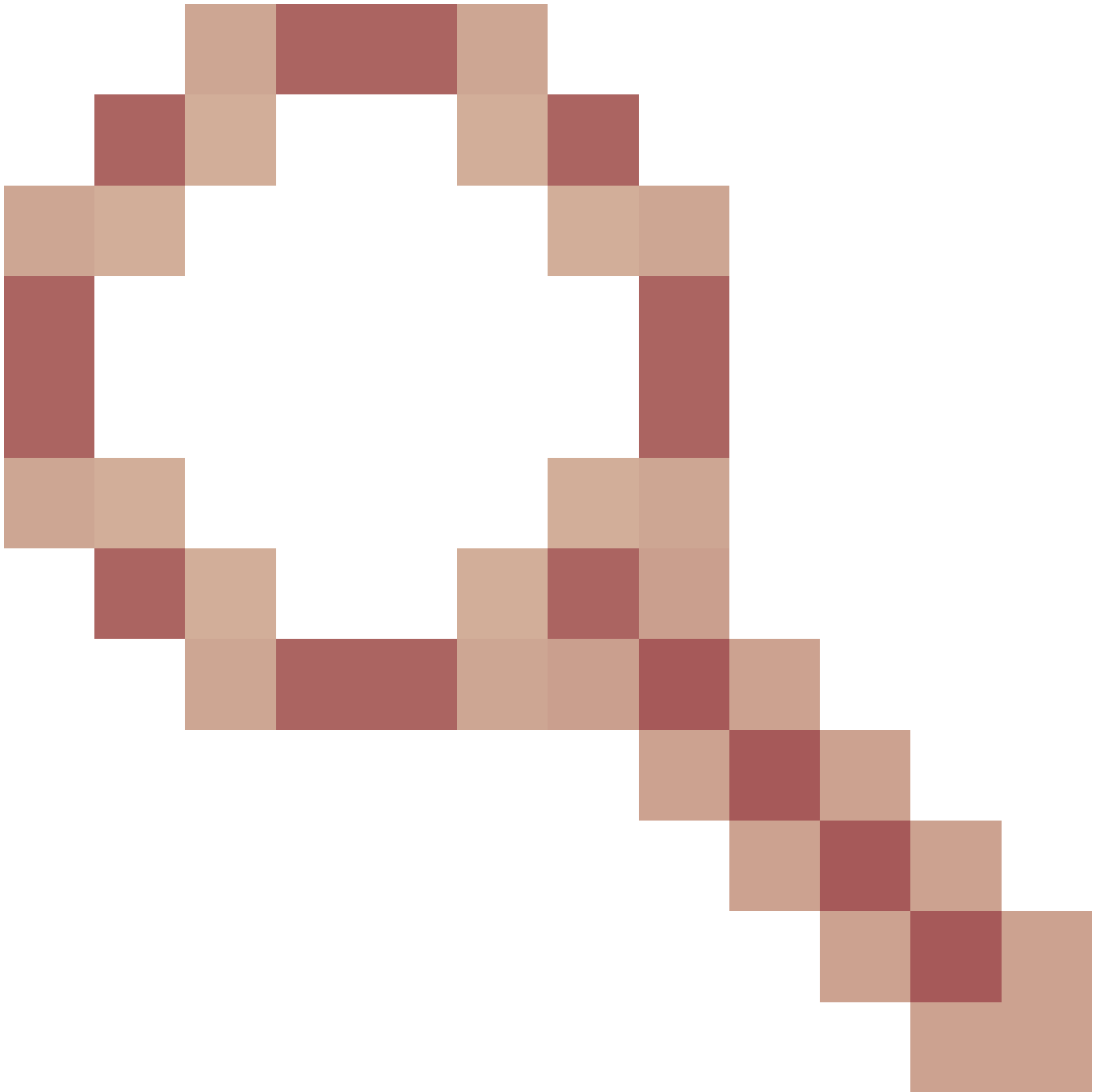
3 - エラー

影響

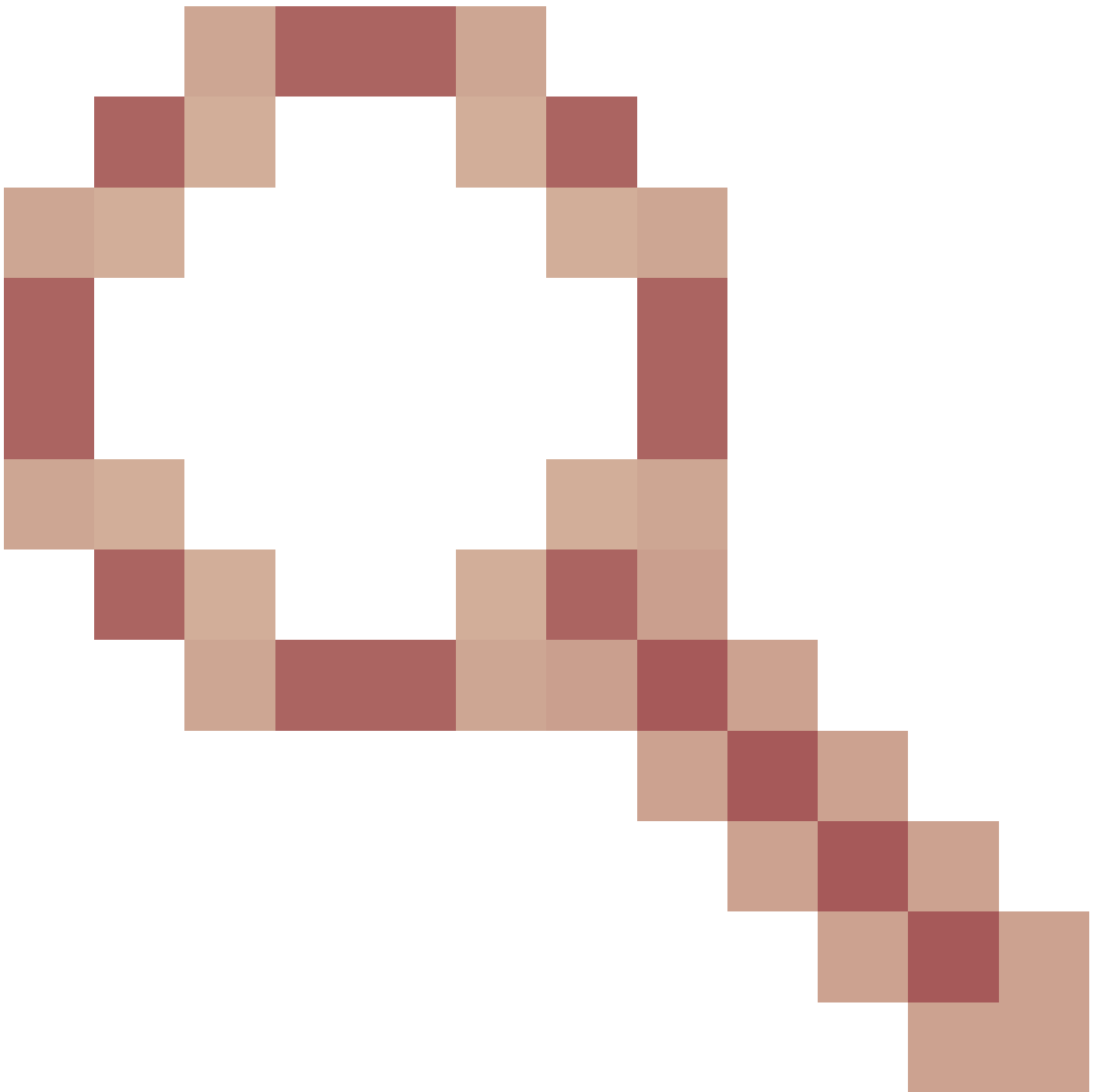
ディスクエラーによりデータの読み取りと読み取りができない

説明

このメッセージは、ストレージメディアのメモリブロックの読み取りまたは書き込み中に、拡張ファイルシステム(EXT)タイプでエラーが発生したことを示します。EXTファイルシステムは、ジャーナルを作成するファイルシステムです。つまり、ファイルシステムに対する変更をジャーナルに記録します。これにより、クラッシュが発生した場合にファイルシステムを回復できます。EXTファイルシステムも非常に効率的で、大きなファイルやディレクトリを扱うことができます。ログメッセージの性質は、指定されたデバイスのEXTファイルシステムにメタデータバッファを書き込もうとした際に、入出力(I/O)エラーが発生したことを示します。状況によっては、ソフトウェアの不具合が原因で、スイッチが予期せず、または最適でない状態で動作する可能性があります。次の既知の不具合のリストを確認し、回避策(利用可能な場合)またはソフトウェアアップグレードを適用してください。Cisco Bug ID [CSCvm77197](#)



- C9300/9500:%IOSXE-2-PLATFORM: Switch 1 R0/0: kernel: EXT2-fs (sda1): error: Cisco bug ID [CSCvp10506](#)



- C9400:%IOSXE-2-PLATFORM: Switch 1 R0/0: kernel: EXT2-fs (sda1): error:

Syslogメッセージ

IOSXE-2-PLATFORM

メッセージサンプル

Sep 11 02:12:15 <> %IOSXE-2-PLATFORM: R0/0: kernel: EXT2-fs (sdb1): error: extx_fsyc: detected IO erro

製品ファミリ

- Cisco ASR 900 シリーズ アグリゲーション サービス ルータ
- Cisco Catalyst 4500 シリーズ スイッチ
- Cisco Catalyst 3650 シリーズ スイッチ
- Cisco ASR 1000 シリーズ アグリゲーション サービス ルータ
- Cisco cBR シリーズ コンバージド ブロードバンド ルータ
- Cisco Catalyst 9400 シリーズ スイッチ
- Cisco Catalyst 3850 シリーズ スイッチ
- Cisco 4000 シリーズ サービス統合型ルータ
- Cisco Catalyst 9500 シリーズ スイッチ
- Cisco Catalyst 9300 シリーズ スイッチ
- Cisco Catalyst 9200 シリーズ スイッチ
- Cisco Catalyst 9500Hシリーズスイッチ
- Cisco Catalyst 9600 シリーズ スイッチ
- Cisco Catalyst 9800 シリーズ ワイヤレス コントローラ
- クラウドでのCisco Catalyst 9800ワイヤレスコントローラ

正規表現

N/A

推奨事項

障害の切り分けに役立てるため、次の推奨事項を使用します。

- 1.影響を受けるパーティションでファイルシステムの整合性チェックを実行し、可能性のあるファイルシステムエラーを特定して修復します。fsck bootflash:コマンドがfsck flash : コマンドを実行して、ファイルシステムの不一致をチェックし、修正してください。
- 2.同様に、fsck stby-またはfsck stbbootflash:y-flash : を使用して、スタンバイでチェックを実行することもできます。
- 3.ファイルシステムチェックを実行した後、フラッシュに新しいファイルを書き込みます。例として、show clock | flash:clock.txtを追加した後、show loggingコマンドを使用して、エラーメッセージがまだ表示されているかどうかを確認します。ほとんどの場合、ディスクI/Oの問題を解決するには、次の手順で十分です。
- 4.問題が解決しない場合は、メンテナンス時間帯にリロードをスケジュールしてください。これは、ファイルシステムのチェックルーチンが自動的に実行されることがあるためです。
- 5.これで問題が解決しない場合は、ディスクを再フォーマットするか、交換する必要があります。この手順を実行する前に、デバイス設定のバックアップを必ず作成し、これをメンテナンス時間帯に実行してください。フラッシュに含まれるファイルを削除できることを考慮してください。フラッシュまたはブートフラッシュのフォーマットを続行するには、次の手順を使用します。

- a. USBからデバイスを起動します。まず、software.cisco.comから適切なファイルをダウンロードし、FAT32のUSBドライブをフォーマットして、イメージをUSBに転送します。
- b. コマンド`config-register 0x0`または`boot manual`を使用して、コンフィギュレーションレジスタを0x0に変更し、デバイスをROMMONに送信します。 `write`コマンドまたは`copy running-config startup-config`コマンドを使用して設定を保存し、デバイスをリロードします。
- c. デバイスがROMMON状態になったら、`dev`コマンドを使用して、usbファイルシステム番号を検索します。たとえば、usb0:
- d. `dir usb0` : コマンドを実行して (0はシステムによって異なります)、USBドライブのファイルを表示します。
- e. イメージのファイル名を特定し、次のコマンドを使用してUSBファイルboot usb0からデバイスを起動します。
- f. デバイスがUSBから起動した後、次のコマンドを使用して`disk:format flash:`または`format bootflash:`をフォーマットします。
- g. この手順が完了したら、フラッシュにイメージをコピーして戻し、`config-register 0x2102`コマンドまたは`no boot manual`を使用してレジスタを2102に戻します。

6. 状況によっては、ソフトウェアの不具合により、スイッチが予期せず、または最適でない状態で動作する可能性があります。既知の不具合の次のリストを確認し、回避策 (利用可能な場合

) またはソフトウェアアップグレードを適用可能に適用します。 Cisco Bug ID [CSCvm77197](#)
- C9300/9500:%IOSXE-2-PLATFORM : スイッチ1 R0/0 : カーネル : EXT2-fs(sda1) : エラー :
++影響を受けるプラットフォーム : C9300/9500 ++既知の修正済みリリース : 該当なし++回避策

: リロードまたは電源の再投入 Cisco Bug Id [CSCvp10506](#)
- C9400 : %IOSXE-2-PLATFORM: Switch 1 R0/0: kernel: EXT2-fs (sda1): error: ++影響を受けるプラットフォーム : C9400 ++既知の修正済みリリース : 17.3.3以降++回避策 : 電源の再投入

コマンド

#show version

#show module

#show logging

#show inventory

#show clock

#show file systems

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。